

ユーロコプター EC175 / エアバス・ヘリコプターズ H175



ユーロコプターとハルビン飛機製造会社が共同開発した中型双発ヘリコプター。試作機は2009年12月4日に初飛行している。開発は両社で分担されており、ユーロコプターはメインギアボックス、アビオニクス、電気・油圧システムなど、ハルビン飛機製造会社はエアフレームやメインローター、操縦系統などの開発をそれぞれ担当した。EC175の開発は従来のヘリコプターに比べて、CADなどのデジタル技術が多用されており、ユーロコプターとハルビン飛機製造会社はCADを使用することにより1万km以上離れた事業所間でも容易にデジタル・モックアップの製造が行えたと伝えられている。EC175はエアバス・ヘリコプターズへの社名変更に伴い名称がH175に変更されており、ハルビン飛機製造会社ではZ-15の名称で製造されている。

エアバス・ヘリコプターズ



H160/H160M

エアバス・ヘリコプターズがドーファンシリーズの後継機として開発した、5.5~6tクラスの双発ヘリコプター。開発は2013年から開始され、2015年6月13日に試作機が初飛行している。民間向けに開発されたヘリコプターとして初めて、機体全体に複合材が使用されているほか、低騒音のメインローター・ブレード「ブルーエッジ」、最新のアビオニクスシステム「ヘリオニクス」、搭載機器の整備作業を容易にするための「メンテナンス・エコシステム」、3D技術文書ツールなど、エアバス・ヘリコプターズの新技術が盛り込まれている。2020年7月にはEASA（欧州航空安全庁）から型式証明を取得しており、顧客への納入は2020年内に開始される予定となっている。軍用機型にはH160M（愛称ゲパール）の名が与えられており、フランス陸海空軍が三軍の統合軽ヘリコプターとしての採用を決定している。